

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 ほたて貝部、漁場環境部
 青森県 東青地方水産事務所
 下北地方水産事務所
 水産振興課
 青森市水産振興センター

ホタテガイ採苗速報

一部海域で大規模産卵が見られました

令和5年2月17～21日に湾内7地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月17日、21日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、2月21日に湾内6定点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で18.7、東湾平均で23.3とそれぞれの前回21.0、25.8より低下しました(図1、2)。西湾、東湾の一部海域で産卵が始まり、蓬田村と久栗坂実験漁場では大規模に産卵しました。各地の測定結果は表1(裏面)のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は20.8と前回20.1とほぼ同じ状況です(図3)。各地の測定結果は表2(裏面)のとおりです。

2 海況

15m層の2月第4半旬平均水温は、平舘、青森、東湾全てのブイで平年並みとなっています。

3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバは、西湾平均で96個/m³、東湾平均で180個/m³出現しました(図4)。ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバは、全湾平均でそれぞれ54個/m³、473個/m³出現しました(図5、6)。

4 今後の見込み

全湾で産卵が始まり、西湾の一部海域で大規模産卵が見られました。しかし、ほとんどの海域で親貝の大きさは平年よりも小さく、生殖巣も小さいため1個体あたりの産卵数は平年より少なくなる可能性があります。また、へい死率、異常貝率が高い海域が見られ、今後もへい死が起きることが危惧されます。

なお、秋季養殖ホタテガイ実態調査時の親貝数は1億165万枚で、産卵不調やラーバの成育が良くない環境でも安定した付着数を見込める親貝数の目安(1億4,000万枚)に達していません。全湾で親貝数が少なく、1枚あたりの生殖巣重量が軽い海域が多いことから、ラーバ数が少なくなる可能性があります。

ラーバ数が少ない場合に備えて採苗器の数を増やすことや中身の流し網を2つに増やすなどの準備をしてください。また、ラーバの流れる場所は年によって変わりますので、採苗器の設置場所を複数海域に分散することも検討してください。

産卵状況およびラーバ出現状況については今後の情報を参考にしてください。

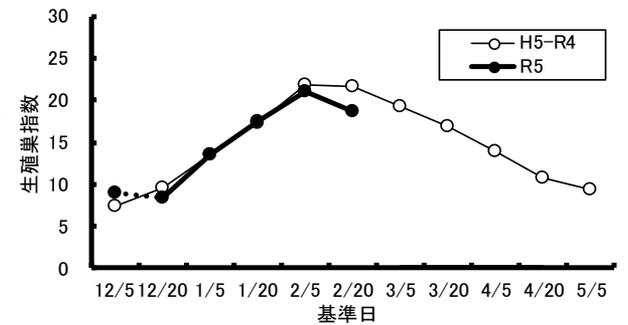


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

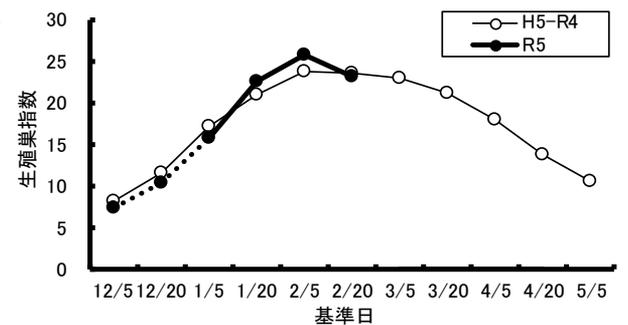


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

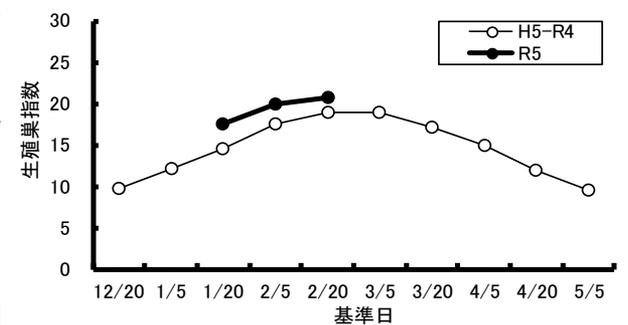


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※調査地点が1地点の場合は破線。



①



②

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	へい死率 (%)	異常貝率 (%)
蓬田村	2月21日	10.8 (10.6)	119.3 (125.1)	65.2 (50.9)	54.7 (40.7)	10.3 (11.6)	15.8 (22.1) [20.4]	7.5	6.6 (13.9) [0.0]
青森市奥内	2月21日	9.7 (10.6)	98.2 (131.6)	39.4 (47.4)	39.9 (35.9)	8.8 (10.6)	22.3 (22.1) [22.0]	30.0	23.3 (6.9) [6.6]
久栗坂実験漁場	2月21日	10.5 (11.2)	122.3 (161.0)	58.7 (67.6)	48.0 (41.9)	10.9 (15.2)	18.4 (22.2) [22.6]	0.0	3.3 (10.6) [3.3]
平内町浦田	2月21日	10.3 (10.3)	114.9 (119.6)	57.9 (50.9)	50.4 (42.5)	10.6 (10.3)	18.2 (19.9) [19.0]	9.2	0.0 (8.7) [0.0]
西湾平均		10.3 (10.7)	113.7 (136.2)	55.3 (54.9)	48.3 (40.2)	10.2 (12.2)	18.7 (21.6) [21.0]	11.7	8.3 (10.2)
野辺地町	2月17日	11.1 (10.9)	144.9 (148.3)	66.3 (67.7)	45.8 (45.7)	14.5 (17.5)	21.8 (25.7) [24.6]	29.9	10.0 (2.2) [0.0]
むつ市	欠測								[0.0]
川内町*	2月21日	10.2 (10.2)	117.5 (118.6)	49.7 (55.1)	42.2 (46.6)	8.5 (12.6)	17.0 (22.5) [16.9]	26.8	3.3 (3.0) [0.0]
川内実験漁場	2月21日	11.1 (10.7)	152.3 (141.0)	73.3 (65.2)	48.1 (46.2)	18.2 (15.4)	24.8 (23.6) [26.7]	13.6	20.0 (5.0) [0.0]
東湾平均		11.1 (10.4)	148.6 (128.6)	69.8 (59.3)	47.0 (46.2)	16.4 (14.3)	23.3 (23.7) [25.8]	23.4	15.0 (3.9)
全湾平均		10.6 (10.5)	125.3 (132.2)	60.1 (57.0)	47.8 (43.2)	12.2 (13.2)	20.2 (22.6) [23.1]	16.7	10.5 (7.2)

* 川内町は生殖数指数が異常な推移をしているため参考値とする

[]: 前回の値 (): H5-R4の平均値

[]: イソギンチャクおよびサンカクフジツボによる異常貝率

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
むつ市	2月17日	10.4 (10.6)	148.7 (133.1)	65.6 (59.8)	44.1 (44.5)	13.3 (12.0)	20.2 (19.3) [20.0]	20.0 (2.7)
川内町	2月21日	10.4 (10.4)	109.5 (128.2)	53.4 (55.4)	48.7 (42.9)	11.5 (10.5)	21.4 (18.7) [20.1]	3.3 (2.1)
東湾平均		10.4 (10.4)	129.1 (126.5)	59.5 (55.5)	48.7 (43.5)	12.4 (10.8)	20.8 (18.9) [20.1]	11.7 (2.4)

[]: 前回の値 (): H5-R4の平均値

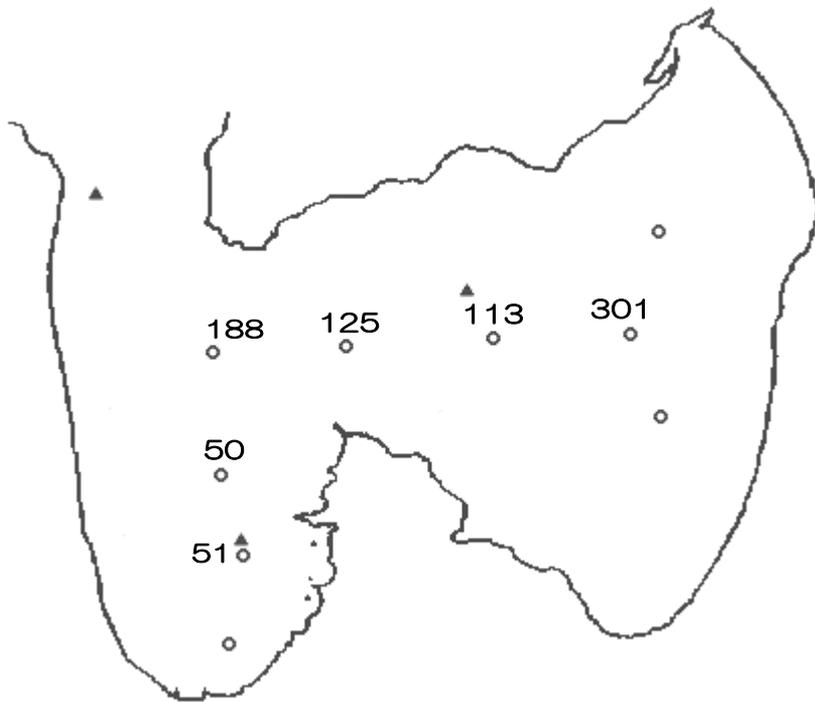


図4 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数(個/㎡)

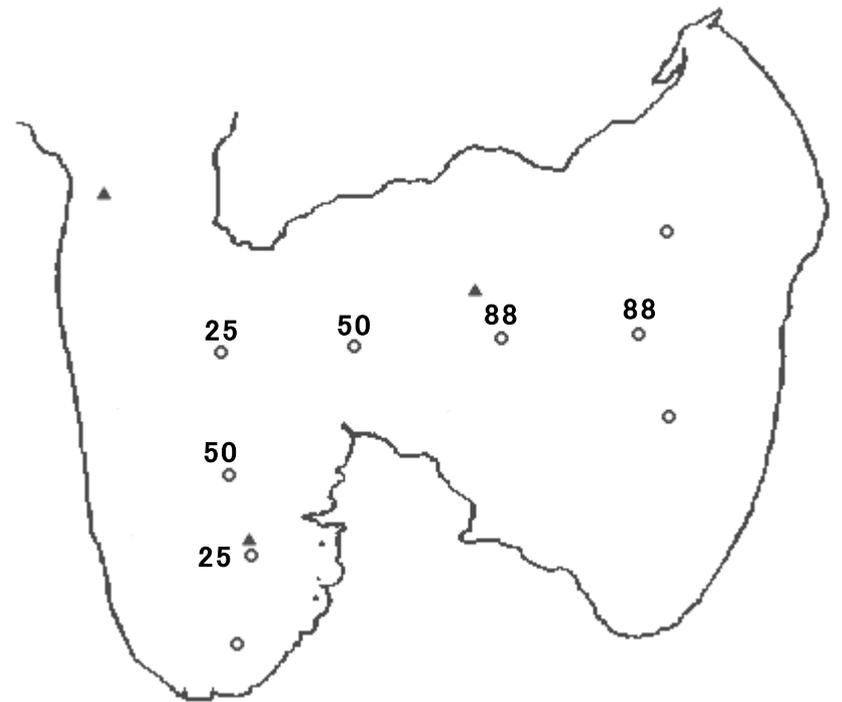


図5 調査地点別におけるムラサキガイラーバの平均出現数(個/㎡)

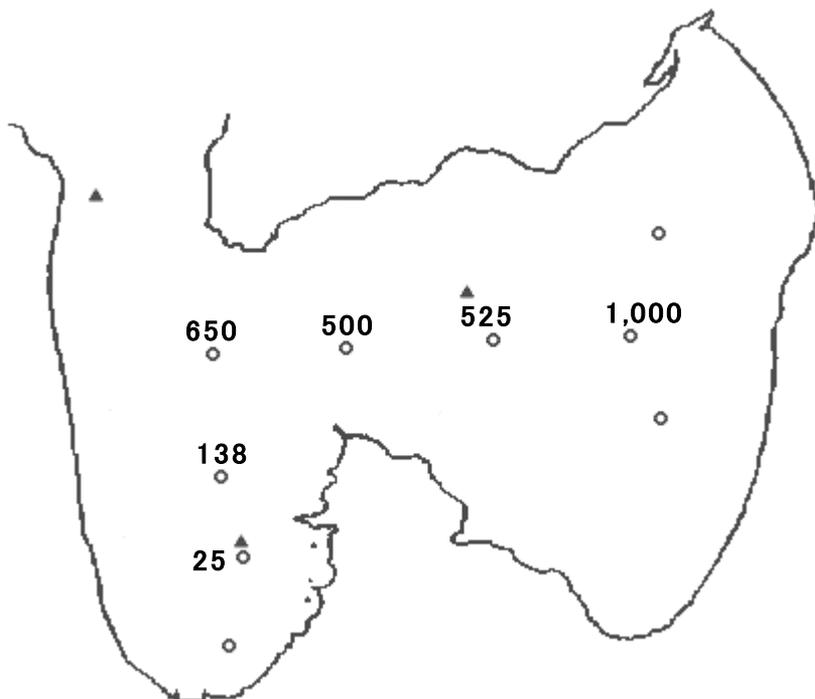


図6 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数(個/㎡)